

現地土または購入土に改良材（特殊針葉樹皮）を加えることで、泥濘化（ぬかるみ）・砂塵等の抑制を図り、使いやすいグラウンドにリフレッシュする工法

インプルクレイ工法

— 繊維状特殊針葉樹皮を利用した土系グラウンド改良工法 —



長崎市 小中一貫校校庭



北斗市 大野中学校

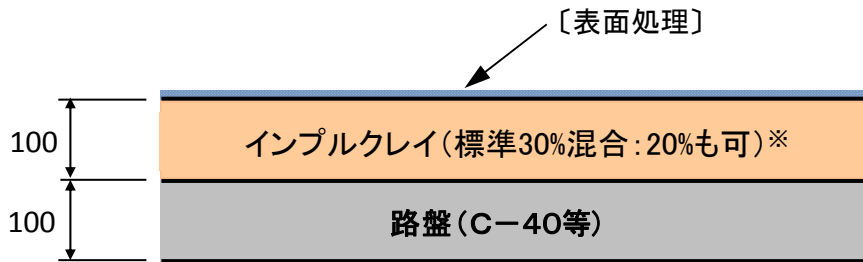
特徴

- 降雨後の土の泥濘化（ぬかるみ）が抑制され、水はけの改善が図れます。
- 晴天時における砂塵が抑制され、グラウンド使用時の環境改善に寄与します。
- 雑草の発芽抑制が図れ、維持管理性が良くなります。
- 繊維状樹皮により構造的安定性を保つことで、土の流亡抑制が期待されます。
- 針葉樹皮は分解が遅く、長期間にわたって土壌改良効果が期待できます。

用途

- 学校グラウンド・校庭、公園、広場、土系の園路、野球場、サッカー場

● インプルクレイ工法の標準断面(例)



※インプルクレイは、現状土混合方式と購入土(真砂土等の良質土)混合・敷設方式があります。そのため、事前に現状土を確認し、適切な工法を選定する必要があります。

● 購入土による混合・施工状況(参考)



● 吸水抵抗性(ぬかるみにくさ)の確認

円柱供試体による水浸状況の比較実験により、インプルクレイを添加することで吸水抵抗性が向上することが確認されました。



添加無し

添加有り

7時間水浸後の比較実験

● ストーンセパレータとの併用

現状土が硬くなっていたり、転石が混在しているグラウンドにおいては、分級機能を併せ持つ、『ストーンセパレータ』を併用することにより、粒度分布の改善・混合性の向上を図ることが可能となります。



ストーンセパレータによる混合状況